令和5年度第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　議事概要

開催日時：令和5年7月3日（月）　10時～12時

開催方法：障害者支援センター　2F研修室

出席者名：委員・・・名越　斉子委員、河西　有奈委員、鈴木　朋憲委員、三浦　信子委員、天野　尚子委員、石丸　靖子委員、小島　正美委員、中野　昭江委員、佐藤　忠広委員、齋藤　遼太郎委員、土橋　賢史委員（代理出席）、國分　留志委員、井上　野歩委員、藤田　優委員、岡田　清華委員、市原　菜央委員、玉熊　雅美委員、福田　幸代委員、井上　雄貴委員 （敬称略）

事務局・・小泉　秀幸、太田　邦子、森居　深雪、菊地　義徳

欠席者名：委員・・・神谷　知宏委員　　　（敬称略）

配布資料：次第

令和5年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会　委員名簿

発達障害者支援連絡協議会協議題一覧

令和5年度第1回　アンケートまとめ資料

公開又は非公開の別：非公開（さいたま市情報公開条例第23条第2号に掲げる場合に該当するため｛同条例第7条第2号に規定される不開示情報に該当する事項について審議し、又は意見を聴取するため｝）。

議題:

1. 各機関の紹介

全委員および事務局より、所属機関の業務について紹介

1. 発達障害児者支援に係る切れ目のない支援体制の検討について

委員の所属機関におけるケースカンファレンスおよび連携の実態と課題を共有

・相談者の問題が多岐に渡る場合、地域の複数の機関と連携してケースカンファレンスを

開催し、支援の方針を決定している。

・支援機関が年齢により変化する際、スムーズな移行のためにケースカンファレンスを

実施している。

・相談者、保護者が多機関に負担なく円滑に支援を受けるために、潤いファイル等の

ツールの活用が望まれる。

・移動の負担や所在地により、連携が取りやすい機関と取りにくい機関がある。

・連携が上手くいった事例の共有をしていきたい。

・連携が困難なケースに協議会として今後どう対応していくか。

（３）事務局による事務連絡

　　　事前アンケートから今回は「発達障害児者支援に係る切れ目のない支援体制の検討につい

　　　て」の項を取り上げた。本日の協議で課題となった点について、今後の協議会でどのよう

に扱っていくか事務局で検討し、案内する。またアンケートで聴取した研修についての意

見も次回以降協議する。

以上